



謎の
スカルダちゃん と えっちゃん 3 たい

どんな命令でも言ってください
とは言いましたが

まさかこんなことを
言われるとは正直
思っていました

ある日マスターさんに部屋に呼び
出された私は高級和菓子に餌に
ふえらちお?という行為を
お願いされました。
令呪をつかって命令すれば良いのだから
と聞くにあくまで私の意思で
シでもらうことに意味があるのか
正直よくわかりません

正直やりたくはありませんが
高級和菓子のため……
下手でも文句言わないでください

ん……ちゅっ
あまっばい……分かれろれろ……
り美味しくはないです……
は……たけど

あ、マスターさんの
ビクビク震えてますけど
男の人はこんなことが
好きなのですか？

れろ

れろ

んっ

まあ……続けます んっ……

あ、先から何か出てきました
しよっぱいような……変な味がします

ん……おいしかってっ

ちゅる
ちゅる

美味しいわけじゃないじゃないですか
こんなこと早く終わらせて高級和菓子を
買いに行きたいです

チゅる

チゅる

チゅる



また何か出てきました
ん……こっちは苦いです
においも……とても臭い

でもなぜだろう……
嫌いな愛ではありません
高級和菓子に通じる趣きある味……
身体の奥がなんだか熱くなっています

これで終わりですか？
では新作和菓子の探索に
出かけましょう

この日からマスターさんは
高級和菓子を餌に私に
色々とお願ひしてくるようになりました

翌日も同じ時間にマスターさんの部屋に呼び出されました。

はあ……今日は何をすればいいですか？
え……何もなくていい？
ここに寝てるだけでいいですか？わーい

あつマスターさんののが
あたつ……気持ち悪いが
早く済ませて和菓子を買
いに行きましよう



すん……あ……っ
すん……激しく動くんですわね

マスターさんが必死に
腰を振り始めました。
がっしりと私の下半身を
掴んで……多分凄いい
摩擦があると思うのですか……

マスターさん、
痛くないのですか？
これが気持ちいいんですか？

マスタートさんの腰の振りが
どんどん激しくなっていました。

んあ……昨日と同じお汁がでて……
股がぐちよぐちよになっちゃいました

でもコシ……いい潤滑液に
なっただんじやないですか？

んっ……んんっ

私は無意識に脚をぐりぐりゆくと動かしてました。マスターさんがとても苦しそうな表情をします。

何をするんだ……？
えーっと……そう
マスターさんが気持ちよくなると思うて
ダメなら動きませ
もっど動かしてくれ？
はあ……分かりました



はあ……はあ……
大丈夫ですか？マスターさん
凄く険しい表情を
してましたけど

マスターさんのお汁が私の
身体にかかって……
この臭い……何故か
身体の……お腹の奥が
凄く熱くなってきました

気持ちよかったです……？
まあ私も最後の方は
気持ち悪くはなかったです
マスターさんが満足できたなら
良かったです

では早く着替えて
今日も和菓子を買
いに行きましょう

今日も動かなくていいのですか？
いえ、昨日私が動いて気持ちいいと
言ってますので

今日もマスターさんの
部屋に呼ばれました。
またあのお願いをされると
思うと始めの前から
身体が熱くなっています。

それにしてもこの体勢は少し…
いえ、なりて恥ずかしいです
前と違って心臓がすごく
ドキドキしてます

は……あ……っ
マスターさんっ
擦れて……あっのっ
♥

目で見えないの分
マスタースターのモノが
擦れる感じが熱くて……
凄く大きいです♥
遅くても……

んっ
んっ
すんあっ……はっ
声が勝手に……んっ
はっ♥♥
はっ♥

ぬち、
ぬち、
ぬち、
ぬち、
ぬち、
ぬち、
ぬち、
ぬち、

はあ……♥
マスターさんまた苦しそうな
表情をしています

最初はわかりませんでした
がどうやらこの表情は
気持ちいいの我慢している
らしいです。

マスターさんが私で気持ちよくなって
その感じると私でも嬉しくな
身体が益々熱くなっています。

アチアチ
アチアチ
アチアチ
アチアチ
アチアチ



はあ……はあ……んっ♡
マスターさんの先っぽが…あっ♡
私の股にあたって…んっ♡

スッパツ越しに…はっ♡
引っ掻いて…あ♡
それ今までより♡
濃い匂いが…

お汁が溢れて
止まりませんっ♡♡

ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ

んっ♡

んっ♡

んっ♡



あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

はあー❤はあー❤
今の……なんですか……
頭の……電流が……
流れ……た……んが……
た……み……い……ん……
れ……の……み……け……ん……
流……れ……た……み……い……ん……

はあ

はあ……んっ❤
股の奥が……んっ❤
何故か……んっ❤
マスタ……んっ❤
……んっ❤

お尻また出てます……
お尻すくく熱い……
……んっ❤

はあ

はあ

はあ

はあ……はあ……❤
今日は終わりですか？
満足してないようでしたら
私は大丈夫ですので——

あ……満足——？
そう……ですか……
いえい
いえ何でもありません

え？私が満足してないように
見える？
な、なにを言ってるんですか！
斬っていいですか？

早く着替えて
今日も和菓子を買
いに行きますよっ

はあ……はあはあっ

身体が熱いっ
昨日マスタ
りさんの願
いからすっ
と……んが
♡

ほ
まし
い……あ
の
お
汁
が
♡♡

はあ

はあ



今日私はマスターさんに呼び出される前にマスターさんの部屋へ来てしまいました。どちやらマスターさんはどこかへ出掛けているようで部屋にはいません。私はベッドに横になると昨日の事を思い出します。

ここ……ここがキュンキュンするもうパンツもぐちゃぐちゃでどうしても抑えられないっ

触ったら昨日みたいに気持ちよくなる……かな

てめ

てめ

んっ…あ…んあっ♡

恐る恐る指でなぞると
そくそくするような感覚が
身体に走りビクビクと
震えてしまいます。

は…あっ♡♡♡…イイっ♡♡♡
あっあっ♡♡♡…身体がびくって…んあ♡
すごい…

中でも身体が一番ビクつく
ところを見つけてそこを重点的に
触っていきます。



はあっ♡ん♡ん♡あっ♡
あそこ…♡ひく♡ひく♡あっ♡
おしっこすると♡ころなの…あっ♡
きもちいい♡♡♡ん♡あ♡
♡♡♡♡♡

あっ♡だめ♡♡だめ♡♡
声…♡で♡ち♡や♡…♡だめ♡なの♡に♡♡♡

ダメだと分かっていても
指を止めることはできませんでした。
寧ろ動きはどんでも
激しくなっています。



これ……直接触ったなら
もっと気持ちいいのかな……？

そう思ってしまったりも
試さずにはいられません。
私は下着を脱ぎ直接
指を這わせ触り始めます。



ふあっ♡……んあ！♡ あっ♡♡

先ほどとは比べ物にならないほどの快感が身体に走りました。

あっ♡きもち…いい♡んっ♡
いよお…♡♡

思わず腰が逃げるほどの快感。でも指の動きは止まることはありません。



身体熱い……お腹の奥が
キュンキュンするっ♡♡
何かかわからないけど……
何故かお汗がほしい……♡♡

私の指は無意識におまんこを挿入されていき……

あっ♡♡
はあ……んあっ♡♡



んんっ♡あんっ♡あ……ああ♡

指を入れただけで身体がビクつき
おまんこが収縮し指を
キツく締め付けます。

はっ♡あんっ♡んんっ♡

私はもう何も考えられなく
なっていました。
ひたすら指を挿ぎ混ぜ快感を得ます。





であっ!キちゃうっ!クる♥
でちや...うっ♥んっんっ!
♥♥♥

あっあっあっ♥
何か...でちやうっ
おしっ!...でちや...
うっ

アッ

アッ!

アッ!

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



ヒッ!

ヒッ!

ヒッ!
ヒッ!
ヒッ!
ヒッ!
ヒッ!

ヒッ!

ヒッ!
ヒッ!
ヒッ!

ヒッ!
ヒッ!

はぁ——はぁ——♡

頭が...真っ白になって...
何も考えられないほどの快感でした。
すごい脱力感です...

コッコにもし私の指より何倍も太くて
硬いマスターさんののが入ったら...
想像しただけでまた身体が熱く...

カ
タ
ン
ッ

!?音のした方を見るといつの間にか戻ってきていたのか
マスターさんがこちらを見て立っていました。



マ、マスターさん？

気付いた時には私はマスターさんに
押し倒されていました。
そしてマスターさんはすぐに服を脱ぎ
取り出して剛直したおちんちんを

す、すごくおっきくなっています
今までで一番おっきいです……





んい!?

私のナカに熱いのが...う!
わ、分かる...マスターさんのお
ちんちんが入ってくるっ♡♡♡

マスターさんが力を
抜いてと言ってます
.....でも

す、すみませんマスターさんっ♡
勝手に力入って.....あう♡

んい

んい

んい

んい

んい



は……あっ……んっ♡

私のナカでおちんちんが
ビクビク暴れてます♡
マスターさんの表情も
気持ちよさそう♡

もっと奥まで入れたいんですか？
まい……ですよ……んっ♡
まだ全部入ってないですしね……
マスターさんの好きにしてください♡♡

ちゅ

ちやく

ちやく

ちゅ

ちゅ

今は…はあ…この中で
ツ…あそ…んっ♡

痛くないか？
大…丈夫ですっ

あそこが少しスキスキと
痛みますがそれ以上に
フワフワした気持ちい
身体を包んでいきます

いんあ♡動いて…
いいですよ♡
白…おマ…お汁を下さい♡





マスターさんはゆめと
腰の前からかき始め
多分私からたしよ。う
それなりのスタしよ。う
そんないスタしよ。う
触れたい身体はどん
なっつきます。はどん

あっ♥ん.....はあ♥

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

はっはぁ♥んあ…あっ♥
頭ポーツとして熱い…ですっ♥

最初に感じた痛みは
もう無くなり次第に快感だけが
身体を支配していきます。

あっ♥何か…くるっ♥
さっ♥自分でシた時と♥
同じ感覚っ♥あっあっ♥





はげしげ
↓
↓
↓

⚡
⚡
⚡

⚡
⚡
⚡

はあ——はあ——♡
いっぱい溢れてます♡

昨日から続いていた
身体の疼きが治まりました。
マスタートさんのおちんちんとお汁を
ナカに出してもらったからでしょうか。

ありがとうございます♡
マスタートさん♡
お礼を言いたいのはこっち？

……？はあ……
また身体が火照ったら
お願いします。



今日もマスターさんのおちんちんは
一段とおっきくなってます

すんすん

相変わらず臭いですが
綺麗な内にも臭いので
綺麗にしないといけないので

マスターさんも私に舐めてほしい
みたいですが
フエラチオ始めますね

はむっ
じゅぶじゅぶっ
おもちふあ通り
すんちゅす...じゅるるっ
すこい味れす...じゅるるっ
♡

しゃる,

ちゅぽ,

ちゅぽは,

ちゅぽは,

ちゅぽ,
ちゅぽ,

回の中が
ママの匂いと
味ひろが
つてまふ♡

んっふ んっんっ♡

かじるの...ためなら
ちゅと舐めます♡
ちゅぶちゅ♡んちゅちゅ♡

最初は気持ち悪かったおちんちゃんも
今ではとても美味しく感じるように
なりました

もっと舐めたい♡...マスターさんの
おちんちゃん♡



ちゅるちゅるっ んっ♥ んっばあ…
どうしました？
私が……すごくえっちになった？

それはマスターさんのせいです
これ、おちんちんが美味しくて…
いえ、美味しすぎるからです♥

だから…かじりたくなるんです♥
はあむ♥

まんっ♥まんっ♥ちゅぶぶっ♥
マスタ―さん♥私が好きな険しい表情
をしています♥

いいですよ♥
好きな時に私の口に
出してください♥

まんっ♥おひんひん回の中で
暴れふえ♥

ちゅぶぶっ

ちゅぶぶっ

ちゅぶぶっ

ちゅぶぶっ

ちゅぶぶっ

ちゅぶぶっ





まんぷく♡んぷく♡
♡んぷく♡んぷく♡

回の中も…喉の奥まで
マスターさんのでいっはいにされました♡
あ…魔力が…あふれそう♡♡

最近この行為が魔力補給を
兼ねていることを知りました。

マスターさんのおちんちんから
私の中に魔力が入ってくるのを感じます♡

ん…すごい量でした♥飲みきれなくて
ドロドロになってしまいました♥

マンタ♥まだ硬いままですね♥
あस्ताさん…今回は終わるハズが
いっせいで…すよね？♥

ん
ちゅ
は
ちゅ

ん
ちゅ



あっ.....♥

ガッ

ガッ

ガッ

私はそのまま押し倒され
マスターさんに腰をがっ
掴まされてしまいましたが
熱くて硬いモノがお尻に
擦り付けられてます
マスタリさんの息がとっても
こは夕から私の減茶に
すこはマンマンです♥♥

あゝ

あゝ



♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

はあっ♡
おちんちん中で膨れてっ♡
おしは射精の合図♡
私もイキまうっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡







子宮・精液ごと
突かれで揺れる♡
こかれもちいる♡
気持ち良すぎる♡

お腹が重い♡
精液でパンパン♡

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



あつあつ...ふんふん

んっ

またまた...あ

私...気持ち良すぎて
もう訳が...わかりま...あっ

イクっ♥ またイきます♥
マスターさんも一緒に...っ

んんん





あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

はあ——はあ——
魔力が……力が溢れて……ん♡♡

今なら黒竜双剣勝利剣を
いくらかでも……はっ♡♡
うてそうです♡♡

これからは糖分補給よりも
コレをお願いしますマスターさん♡♡
ええ、毎日です♡♡

んっ——♡

んっ——♡

数日後

普段はマスターさんばかり動いてもらっているので

今日は私がマスターさんを気持ちよくします♥

あれから毎日マスターさんに魔力補給をシてもらおうようになりました。

今日はクエストも消化済みで一日中マスターさんに魔力を補給シてもらえます♥
想像しただけで…はぁ♥
おまんこが疼く♥♥♥

ぞくぞく

ゾクゾク

ゾクゾク



んあ♥は……あ……♥
キツい……おちんちん♥
前より……おちんちん♥
入り遅しくなってます♥
何度入れてもキツい♥♥♥

チンポが靈基再臨した？
はあ……せっかく寝めで上げたのた
冗談はいいです
さっさと始めちゃいましょう

ぞくぞく

ぞくぞく

ぞくぞく

ちゅちゅ

ちゅちゅ





おはっ...あ...はあ♥
おまんこちんのエロに...
ご掻き回されてっ♥

自分の気持ちいいとこ
当たって...んいっ♥

ちゅわん...っ♥

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

ちゅわん

あっ♥ んっ!
キたあ……おちん……ちん
ビクビクっ♥♥

早速マスターさんの魔力を
精液を補給っ♥♥

マスターさんの射精……
あの奥が爆発するような
感覚が……と想像するだけで……
おまんこが……ん……ん……
身体が……ん……ん……熱くなります♥



は.....♡あ.....♡♡

おちんちんがドクンドクンって脈打ってるのが分かります.....♡

出した精子が.....魔力となつて私の子宮に身体に染みこんでいく♡♡この感覚が.....♡♡♡♡







今日は……私が動いて
気持ちよく……んっ！
ああっ！
♡♡♡

あ……だめ……んあ！
勝手に動いちゃ……ああっ！
♡♡♡

んっ！

んっ！

んっ！

んっ！

んっ！

んっ！

んっ！

シャワー

シャワー

シャワー

シャワー

シャワー

シャワー

あっあっ♥んあっ♥はっ♥
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

マスターさんのおちんちんが
私の膣内で暴れて
何度も突き上げてきますっ♥
もう何も考えられませんが
身体がマスターさんを……おちんちんを
精子を求めて……っ！♥♥♥

はっはっはっ♥
はっはっはっ♥
はっはっはっ♥

はっはっはっ♥
はっはっはっ♥
はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥

はっはっはっ♥



は……はあ……っ♡

頭……まっっご……あ♡

結局マスターさんが動いてしまいました。

それにしてもマスターさん最初から

トバし過ぎて♡

こまだ始めたばかりなのに

私壊れちゃいます♡♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

おん♥ちん♥あっ♥
おんちんちんまた硬くなった♥

二度の射精で少し柔らかく
なりつつあったマスターさんの
おちんちんおまんこの中で
すくすくと脈打ち復活しました♥

この体勢はマスターさんが
好きな体位のように
よきでたまいます
そしてくたいたい
激しく突かれます♥

今回もマスターさんは
力が抜けて動きません
私を思いっきり犯す気
マシマです♥♥

もっと……きもちよ
してくだいっ♡♡

強引なの……
きもちいです♡
もっと♡
激しく突いてください♡

あっ♡んっ♡はあっ♡
いっ♡んっ♡きもち♡





おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

凄く濃い匂いが部屋中に漂ってます♡
萎えることを許さずもっとセックスをしろと
言ってみたいです♡

快楽に酔いしれるおまんこの
中で射精を続けるおちんちん♡

↑ 1st

↑ 1st

↑ 1st

↑ 1st

↑ 1st



あっ♡はんっ♡んんっ♡♡♡

マスターさんは狂ったように私のまんこを突きまくります♡♡♡

私も……狂いそう……です♡♡
溶けちゃいそう……です♡♡
私の身体が私じゃなくなってる♡♡

気持ちいいの……
超えちゃってます♡♡♡

私の身体...もう壊れちゃってる...♡
狂っちゃってます♡♡♡
マスタさんのおちんちんの
ことしか考えられません♡♡♡
でも...クランス的には「アハ...
良いか♡♡

腰んっ♡おっ♡あ...っ♡
動いちやいま...っ♡





私もイっく♥
狂いますっ♥♥♥
二人一緒になっ♥♥♥
狂いましょうっ♥♥♥

ああっくる♥
おちんちんまた膨れて♥

んんん

んんん

んんん



マスターさんの
精子欲しくって
身体ずっと
震えてます♥♥

んっ♥あああ
とまらない…いあ♥♥

あ
あ
あ

んっ
んっ

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

私はそのまま
全身の力が
抜けて意識を
失うてしまいました♡

凄まじい膣内射精と
絶頂の快感で
視界がクラクラします♡

はあ

はあ

はあ——はあ——
やっとおさまっ……た♡♡

ん……

寝ちゃってたようです
あれからどれくらいの時
間が経ったのでしょうか。
わがままな感じがすうと
マスタールさんとセックスを
続けたいことは覚えてい
ます。

途中お風呂と軽い食事を
摂った後、その外は
すうとベットのうえで
何度も何度も射精の
回度も溜まった古い精
子宮に溜まった古い精
子をかれました。精子を
注がれました。
そのたび私の意識は下
ンで
イきました。

おそれなく私に寝ている間に
射精していただくように
精液をすべて取り除いて
その前にそなたのちんぽは
目の前にあるというごは

お掃除…ごめいな♡

マスターさんは私を
目覚まして顔を前を
確認すると顔を前を
跨おちんちんを
近づけてきまして

あ♡

ポーン

ポーン

はあむ♡
んちゅ…ちゅ♡

回の中に苦い味が…
寝起き三番にマスターさんの
魔力を回から補給♡

いこ所少い
はれがしっ
まはあ乾ば
せ念りい
ん入まで出
♡りすかした
♡に綺麗じな
らとるハート

ちゅ、

ちゅ↓

ちゅ
は↓

ちゅ↓



ちゅっ♡ちゅっ♡
はちゅっ♡はちゅっ♡

ちゅっ♡ちゅっ♡

おちんちんがびくびく
震えて尿道に残っていた
精子が出てきました♡

母の綺麗なお尻♡

♡♡ちゅっ♡ちゅっ♡

ちゅるるっ♥ちゅっ♥んあ♥
おちんちん…硬く♥
なつてきました♥
んちゅ♥

ちゅるるっ

ちゅるるっ

ちゅるるっ

ん

射精したくなった？
せつかく綺麗にしたのに
また汚すんですね♥

いいですよ♥
いっぱい汚していただき♥

ちゅるるっ

ちゅるるっ



んっはあー♡んっ♡

凄…濃厚でした♡
とても一日中セックス
してたとは思えません♡

おちんちんまた元気に
なってしまいましたか？
どうします？
マスターさんが望むのなら
今日も一日中部屋に
引きこもりますか？
私は動きたくないの
それでもかまいませんが♡

結局今日も一日中部屋に
引きこもるじこになりました。



え？今更だけど
私がマスターさんを
どう思っているか？

本当に今更な質問ですね
あれだけ私に色々シておいて

……そうですね
最初和菓子を餌に
えっちなことを要求してきた
時は驚きましたけど

毎日ちゃんと和菓子をくれますし
えっちなことも……魔力補給を
兼ねていると解ればまあ

後半は
気持ちよかったですし



今は好きですよマスターさんの事

ですからこの総身に宿る力の全て
貴方に委ねます
私のイカリとなり喜びとなってください

死が二人を分かつまで
今後よろしくお願いします